2024 年度
履修の手引き

建築学部

工学院大学

目 次

全学部共通編

履修科目の決め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 02 ページ

履修に必要な情報の取得方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 02 ページ

履修登録に関わる注意点 1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03 ページ

履修登録に関わる注意点 2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・04 ページ

各科目の履修登録に関する注意事項

1．総合文化科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 05 ページ

2．英語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 06 ページ

3．第二外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・07 ページ

4．保険体育科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08 ページ

5．教職課程科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08 ページ

6．学芸員課程科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09 ページ

7．インターンシップ科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10 ページ

授業時間割変更等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 ページ

新宿キャンパスの教科書販売について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 ページ

授業アンケートの実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 ページ

建築学部編

履修登録上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11 ページ

数学系科目の履修登録について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11 ページ

建築構法の再履修について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12 ページ

3 年次前期必修科目の履修に関する注意・・・・・・・・・・・・・・・・・12 ページ

履修条件未充足者の再履修について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12 ページ

履修登録スタートマニュアル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13 ページ

履修の手引き－全学部共通－

履修科目の決め方

履修する科目は、**ご自身が入学した入学年度の学生便覧における所属学科のカリキュラム**から選ぶことになります。学生便覧で履修しなければならない科目を確認した後、授業時間割表を使用して、その科目の履修期、曜日、時限を確認します。どのような授業が行われるかを確認する場合は、シラバスを利用します。以上のことが確認できたら、キューポートの履修登録メニューから履修登録を行ってください。

手順１．学生便覧でカリキュラムを確認する

⬇

手順２．授業時間割表でその科目が開講されている履修期や曜日・時限を確認する

⬇

手順３．シラバスを使用して授業計画や授業の狙い、注意事項、必要な教科書等を確認する

履修に必要な情報の取得方法

名称	説明	情報取得先	注意事項
キューポート	工学院大学の学生ポータルサイトのこと	大学入学後、アカウントが配布されるのでガイダンス内容にしたがってログインすること	履修の登録を行う、大学からの重要なお知らせが通知されるなど学生生活を行う上で必要不可欠なサイトなので使いこなせるようにすること
学生便覧	カリキュラム、学則など学生生活に必要な情報がまとめてある	大学サイト	自身の入学年度・所属学科のカリキュラムを参照し、進級・卒業に必要な科目や要件を確認すること
授業時間割表	当該年度の授業がいつ（履修期、曜日、時限）どこで（教室）で開講され、誰が（教員名）担当するかがわかる	キューポート	授業時間割表で得た情報をもとに、キューポートの履修登録メニューから履修登録をすること
シラバス（授業計画）	各授業について、授業の狙い、授業計画、成績評価方法、教科書などが掲載されている	キューポート	初回授業に出席する前に内容を確認し、履修科目を決定すること
履修の手引き ※本冊子	履修登録を行うにあたっての注意点、登録方法がまとめられている	キューポート　または 大学サイト	科目ごとに履修ルールが定められている場合があるので、内容をよく読んで遵守すること
履修コード表	クラス分けされている授業において、どの授業コードに自分が登録するべきか確認する表	キューポート	例えば、微分及び演習［先進］【ABCD】と表示されているコードが複数ある。その時、履修コード表を見て自分が登録する授業コードを確認すること
科目変遷表	カリキュラムに記された科目に変更（名称変更など）が生じた場合の対応表のこと	キューポート	例えば、中国語初級が時間割に存在しない場合、どの科目で代替可能なのかを確認すること

履修登録に関わる注意点 1 【授業形態と遠隔授業の上限単位数】

授業形態の種類

2024 年度の授業形態は、授業の特性に合わせて 4 種類に分かれます。
それぞれの形態の特徴と注意しなければならない点を下記の表で確認してください。

授業形態	特徴と注意点	時限	受講形態
①対面 時間割上の曜日時限に配当された教室における対面の授業をベースとする* 時間割表記：**[対面]**	・教室 / 実験室等で実施される ・出席の際は教室備え付けの出席端末リーダーにタッチすること ・基本、対面授業だが一部の授業回を遠隔で実施することもあるので教員の指示に従うこと	2～5 限	対面
②ハイブリッド 時間割上の曜日時限に配当された教室にて実施し、オンラインツールを用いて同時配信を行う* 時間割表記：**[ハイ]**	・対面で受講するときは、教室備え付けの出席端末リーダーにタッチすること ・遠隔受講の場合の要件（受講場所を問うか、問わないかなど）は各回の授業で指示があるのでそれに従うこと ・遠隔受講の出席確認方法は教員の指示に従うこと	2～5 限	対面/遠隔
③遠隔（同時双方向） すべての授業を時間割上の曜日時限にオンラインツールを用いて実施する* 時間割表記：**[遠隔(同)]**	・受講要件（受講場所を問うか、問わないかなど）は各回の授業で指示があるのでそれに従うこと ・出席確認方法は教員の指示に従うこと	2～5 限	遠隔
④遠隔（オンデマンド） 音声付パワーポイント教材や録画した映像授業を定められた期限までに受講する 時間割表記：**[遠隔(オ)]**	・1 限または 6 限に配置されているが、その時限に受講する必要はない。 ・一つの時限に複数の授業を履修可能。 ・受講や課題・小テストの期限は受講方法説明書の記載や教員の指示に従って対応すること ・課題は定められた期限までに提出すること ・質問は教員の指示に従っておこなうこと ・出席確認方法は教員の指示に従うこと	1 限 または 6 限	遠隔

＊オンデマンド EX を除く

各授業形態の確認方法について

各授業形態の確認は授業時間割表を参照してください。科目名の後ろに授業形態が記されています。
例）工学院大スタディーズ [先進]【ABCD】[遠隔(オ)] ⇒ 遠隔（オンデマンド）

遠隔授業が卒業単位として認められる上限 60 単位について

学則第 35 条 2 により、遠隔授業が卒業単位として認められるのは **60 単位以下**と定められているため、履修においては遠隔授業で修得する単位数に注意すること。（対面授業を 64 単位以上修得している場合は、遠隔授業の単位が 60 単位を超えることは差しつかえない。）

※②ハイブリッドは全授業回数の内、半数以上を「対面」で受講した場合は対面、半数以上を「遠隔」で受講した場合は遠隔としてカウントします。

※授業形態が[遠隔(オ)&対面]となっている授業は遠隔としてカウントします。

履修登録に関わる注意点 2 【CAP 制度・リピート・再履修】

CAP 制について

履修登録の上限単位数は一年間（通年）で設定し、原則として以下のとおりとします。

1-4 年の各年次それぞれ 49 単位まで（前期・後期・１～４Q・通年科目の合計）

履修登録の上限単位に含む科目は、前期・後期・１～４Q・通年科目とし、夏期・春期等の集中授業については上限単位数に含めません。

特例措置について

1　通算 GPA が高い学生に対する特例措置

前年度末日までの成績によって算出された通算 GPA が **3.5 以上**かつ前年度修得単位数が **40 単位以上**の者に年間 **59 単位**まで履修登録を認める（＋10 単位）

※前年度修得単位数は、前期・後期・１～４Q・通年科目のみ（他大学科目は含まない）で算出する

※特例の対象となるかは各自で確認すること

2　教職科目（教職に関する科目）および学芸員課程の科目に対する特例措置

・　教職課程必修科目（教職に関する科目＊のみ）は上限単位数に含めない

※2019 年度以降の入学生は「教育の基礎的理解に関する科目等」と「各教科の指導法に関する科目」を指す

・学芸員課程必修科目は上限単位数に含めない

CAP 制に関する注意点について

1　不合格になった科目も **CAP 制の上限単位数に含まれます**。例えば１Q、２Q で多くの科目を履修して不合格になった場合、３Q、４Q で履修できる科目が、その分少なくなりますのでご注意ください。年間の履修計画をしっかりと立てて登録することが重要です。

2　リピートや再履修する科目も **CAP 制の上限単位数に含まれます**。

リピート制度について

リピートとは、成績評価の低い科目の授業をもう一度履修することです。リピートした結果、古い成績評価を上回った場合は、新しい成績評価に置き換わります。

リピートができる授業について

基本的にどの科目でもリピートはできますが、履修できる授業クラスには原則、以下の制限があります。

1　科目名のあとに「**（再）**」とついている科目は、過去に一度以上受講したものの単位未修得である学生のみ履修可能な授業のためリピートできません。

2　人数調整の兼ね合いで履修コード表に基づき履修登録を行っている授業はリピートできない可能性があります。

再履修制度について

再履修とは、一度履修した科目の単位を修得できず、再度履修し修得を目指すことです。

再履修ができる授業について

1　基本的にどの科目でも再履修はできますが、履修できる授業クラスには原則、以下の制限があります。

2　他学科で開講されている同名の科目は、名称が同じであっても内容が異なる場合があるので原則、履修を認めません。特別に他学科での履修を認める場合は、履修の手引き各学科ページかキューポート掲示にて指示します。下位学年の科目を履修する場合は、必ず自身の入学年度の学生便覧で自分のカリキュラムにその科目があるか確認してください。自分のカリキュラムにない科目を修得しても自学科の単位になりません。

3　再履修したい科目が今年度で開講されていない場合には、科目変遷表で対応を確認し、該当科目を履修してください。科目変遷表で対応する科目を修得することで、年度末に自身の入学年度の科目名に振り替えて修得することができます。

各科目の履修登録に関する注意事項

１．総合文化科目

総合文化科目は 1 年生配当の科目と 2 年生以上配当の科目に大別されます。

１年生配当科目

1 年生の受講可能な科目には、学部ごとに開講される「ロジカルライティング」系授業と「工学院大スタディーズ」(1Q)とがあります。

「ロジカルライティング」系授業は、学籍番号によってクラスが分かれています。クラス分けは履修登録開始前にキューポートで知らせますので、正しいクラスで履修登録をしてください。また、「ロジカルライティング」系授業は、基本的には 1 年生対象の授業です。2 年生以上で履修を希望する場合は、必ず初回授業で担当教員に相談してください。

「工学院大スタディーズ」は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI プログラム リテラシーレベル」の必須科目となっています。（詳しくはこちら。https://www.kogakuin.ac.jp/datascience/ ）

２年生以上配当科目

総合文化科目は 4 年生までの間にバランスよく履修することが大事です。2 年生以上配当の科目は、当然ながら 3 年生・4 年生でも履修できます。3 年次科目履修条件や卒業論文着手条件をクリアする必要はありますが、何もあせって早く取る必要はありません。着実に計画的に履修していくことをお勧めします。 また「〇〇A」と「〇〇B」は特に受講順序は決まっていません。どちらからでも、どちらか一方だけでも受講可能です。

２年生以上配当の総合文化科目は、ほとんどがオンデマンド科目です。対面授業は下記の 3 科目（八王子校舎）のみとなります。

「美術 A」（前期 木曜 3 限または 4 限）

「美術 B」（後期 木曜 3 限または 4 限）

「技術者を志す私たちの総合文化プロジェクト」（後期 月曜 3 限または 4 限）

オンデマンド型の具体的な科目名については、入学年度の学生便覧で確認してください。オンデマンド科目は抽選なしに受講できますが、初回授業から必須課題等がある場合もあります。必ず初回から受講するようにして下さい。また、コースパワーに掲出される「受講方法説明書」で、各回の課題提出の締切日程、合同定期試験期間中の試験の有無や試験日程などを確認した上で、最終的な受講を決断してください。

総合文化科目の履修登録

履修登録期間内であれば登録を削除することができます。受講しないと決めた科目は履修登録期間内に削除するようにしましょう。削除しないで F 評価になると GPA に大きく響きます。とくに、オンデマンド科目の受講登録は自由度が高いですが、それだけ受講する学生の皆さんの計画性が問われますので、注意してください。

総合文化科目の履修登録に関わる Q&A 集もキューポートに掲出されますので、併せて確認ください。

以上を確認した上でさらに総合文化科目の履修について不明な点は、担当の先生ではなく以下にお問い合わせください。

liberalarts@cc.kogakuin.ac.jp

２．英語科目

必修英語の履修登録

習熟度別クラス編成について

1　必修英語は、習熟度別にクラス分けをします。指定されたクラスを教務課が事前に登録しますので、内容を確認してください。他の必修科目と曜日時限が重複するなど特別の事情がない限り、指定されたクラス以外での履修は認めません。

2 「Basic English I/II」と「Basic Communication I/II」（１年次必修英語科目）は、習熟度調査の結果でクラス分けをします。

3 「Basic Academic English I/II」（２年次必修英語科目）は、前年度の必修英語科目の結果に基づきクラス分けをします。

4　全学部１、２年生を対象に TOEIC-IP テストが実施されます。詳細はキューポートに掲示します。このテストの結果は、１年生は「Basic English II」、２年生は「Basic Academic English II」の成績評価に使用されます。また「Basic Academic English I/II」のクラスはこのテストの結果に基づき判断されます。なお、正規・再履修のどちらのクラスも TOEIC-IP テストは受験必須です。必ず受験してください。

5　指定されたクラス以外を受講した場合、単位を修得することはできません。

再履修について

4　必修英語を再履修する場合には、原則、時間割に記載されている再履修クラスで履修しなければなりません。別の必修授業と曜日時限が重なっている場合は、キューポートの指示に従って連絡してください。

5　再履修クラスを受講できるのは、過去に同名科目を受講し、不合格（F）になった場合に限ります。
当該科目の未履修者は再履修クラスを履修できません。

6 「Basic Communication Ⅰ」「Basic Academic English Ⅰ」の再履修クラスは前期にのみ、「Basic Communication Ⅱ」「Basic Academic English Ⅱ」の再履修クラスは後期にのみ開講されます。

7 「Basic English Ⅰ」および「Basic English Ⅱ」の再履修クラスは前期・後期共に開講されます。

応用英語の履修登録

「Intensive English Course」

海外語学研修の科目です。申し込み方法等は別途掲示等によって案内します。

2022 年度以降入学生

「Introduction to English for Global Communication Ⅰ/Ⅱ」

「English for Intercultural Communication A/B」

上記応用英語科目（八王子開講）のクラス定員は、30 名程度を原則とします。授業開始前にキューポートでの抽選が実施されます。詳しくは告知が出ますので、それを参照してください。

「English for Global Communication A/B」

履修方法については別途、掲示等で案内いたします。なお学部 1～4 年生のすべての学生が対象ですが、2021 年度以前の入学生は他学科科目の単位として計算されます。Ⅰ群または A 群の応用英語の単位としては計算されませんのでご注意ください。

2021 年度以前入学生

「Presentation in English Basic Ⅰ/Ⅱ」

「Writing in English Basic Ⅰ/Ⅱ」

上記応用英語科目のクラス定員は 30 名程度を原則とし、新宿キャンパスで開講します。

３．第二外国語科目

注意事項

1 第二外国語は必修ではありませんが、卒業に必要な単位として必修英語以外の応用英語または第二外国語の中から 2 単位修得することが必要です。

2 2024 年度より各言語の「初級 1」は「初級」に名称変更、「初級 2」は廃止（ただし「中国語初級 2」は「中国語中級」に名称変更）、中国語中級 A・中国語中級 B は廃止となりました※。前期・後期共に初級が開講されるため、第二外国語初級で 2 単位を修得したい者は前期・後期で異なる外国語の初級を受講してください。前期・後期で異なる曜日・時間帯に登録できます。中国語中級の履修希望者は、直前のセメスターに中国語初級（あるいは中国語初級 1）の単位を取得している事を強く推奨します。なお、母語が日本語ではない場合、初級・中級共に母語とは違う言語を選択してください。

※2023 年度以前入学生

「※」に伴い、「○○語初級(新カリキュラム)」を履修・修得すると「○○語初級 1(旧カリキュラム)」、

「中国語中級(新カリキュラム)」を履修・修得すると「中国語初級 2(旧カリキュラム)」とみなされます

3 同時に 2 つの第二外国語を履修することはできません。都合の良い時間帯に一つだけ第二外国語を履修するようにしてください。登録できるのは一つの時間帯だけです。

4 第二外国語は何年次でも履修できます。

5 第二外国語のクラス定員上限は 50 名とします。履修登録開始前にキューポートでの抽選が実施されます。抽選について詳しくはキューポートに告知が出ますので、それを参照してください。

「日本語中級Ⅰ/Ⅱ」について

本科目を履修できるのは以下の入試種別による入学者、または指定校推薦等で入学した留学生に限ります。日本語を母語とし十分な運用能力を有する学生は受講できません。

・外国人留学生入試/別科生特別入試/海外特別指定校推薦入試/海外帰国生徒特別入試/国際バカロレア特別入試

４．保健体育科目

「身体・運動科学演習Ⅰ/Ⅱ」（2024 年度入学生）

「身体・運動科学演習Ⅰ」（前期）、「身体・運動科学演習Ⅱ」（後期）はともに必修科目です。必ず学部・学科ごとに定められた曜日・時限の授業を履修登録するようにしてください。

「身体・運動科学演習Ⅰ/Ⅱ」の再履修 （2018 年度以降入学生）

「身体・運動科学演習Ⅰ」（前期）と「身体・運動科学演習Ⅱ」（後期）のうち、合格していない科目を履修登録してください。他学部・学科の曜日・時限でも受講可能です。対面授業１回目に再履修である旨を担当教員に申し出てください。

「身体・運動科学演習」の再履修（2017 年度以前入学生）

「身体・運動科学演習」を再履修する場合は、「身体・運動科学演習Ⅰ」（前期）および「身体・運動科学演習Ⅱ」（後期）を履修登録してください。他学部・他学科の曜日・時限でも受講可です。対面授業１回目に「身体・運動科学演習」の再履修である旨を担当教員に申し出てください。

「生涯スポーツ１/２/３」（2021 年度以降入学生）

1 各自の希望する種目が開講されている曜日・時限で履修できます。別途配布される**「生涯スポーツ履修ガイド」**を参照してください。
2 年間２単位まで履修できますが、同一履修期に２科目（2 単位）の履修はできません。
3 １科目目を「生涯スポーツ 1」、２科目目を「生涯スポーツ 2」、３科目目を「生涯スポーツ 3」として登録してください。
4 「生涯スポーツ 3」は、標準履修学年を３年生以上とし、学科ごとの３年履修条件を満たしていない場合は履修できません。

「生涯スポーツＡ/Ｂ/Ｃ」（2020 年度以前入学生）

科目振替がありますので「生涯スポーツＡ」を「生涯スポーツ 1」、「生涯スポーツＢ」を「生涯スポーツ 2」、「生涯スポーツ C」を「生涯スポーツ 3」としてそれぞれ上記の通り履修登録してください。

５．教職課程科目

教職科目全般について

教職科目を履修するためには、①**年度初めに行われる教職課程説明会（2024 年度はオンデマンド）に参加**し、②**教職課程の登録**をします。単位の履修方法は登録の際に渡される**「教職課程の手引き」**に掲載されていますので、それに従って③「教科及び教科の指導法に関する科目」＊1と「教育の基礎的理解に関する科目等」＊2の履修をすすめてください。

「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「教科に関する科目」は自分の所属学科で修得します。「教育の基礎的理解に関する科目等」と「教科の指導法に関する科目」は、学科の必修の空き時間を使って履修を進めてください。たとえば１年生の前期に登録できるものに「現代教職論」があります。この科目は月曜２限と月曜３限（いずれも八王子）、土曜２限（新宿）、夏期集中（新宿）で開講しています。１年次に履修できなかった場合は、２年次以降でもかまいません。学科の募集を停止したなどの理由で、履修すべき科目が時間割に見当たらない！ということがあります。そんなときは、各学科の「科目変遷表」をチェックしてください。代わりにどの科目をとればいいかが記載してあります。

教職課程の履修や進路に関して、少しでもわからないことがあれば、教職教員に質問してください。学科の勉強にプラスして教職をとるのは大変かもしれませんが、授業や教育実習を通して、かけがえのない仲間と出会い成長することができます。

旧課程（2018 年度以前入学生）はそれぞれ以下に読み替えてください。

＊１ 「教科及び教科の指導法に関する科目」⇒「教科に関する科目」

＊２ 「教育の基礎的理解に関する科目等」 ⇒「教職に関する科目」

教育実習に関する科目について

教育実習を行う者は、下記の教育実習講義の授業コードを登録してください。

３年次後期に**「教育実習指導」**を履修してください。４年次の**「教育実習」**については、実習前年と実習年に教育実習オリエンテーションに出席し、実習年に教育実習費を納入する必要があります。４年次後期の**「教職実践演習」**は希望の曜日のクラスを各自登録してください（土曜クラスは登録後、２クラスに分かれます）。

「教育実習Ａ/Ｂ」と「教育実践演習」（後期）は、随時開講となるため、重複して履修することが可能です。

科目名	担当者	学年	履修期	曜日	時限	授業コード
教育実習指導	三浦 登	３年生	後期	土曜	５限	A1100193
教育実習 A	内山 宗昭他	４年生	通年	土曜	５限	A1100191
教育実習 B	内山 宗昭他	４年生	通年	土曜	５限	A1100192
教職実践演習	尾高進	４年生	後期	月曜	３限	A1100504
	内山宗昭他	４年生	後期	水曜	３限	A1100201
	瀬尾和哉他	４年生	後期	土曜	５限	A1100787
	安部芳絵	４年生	後期	土曜	５限	A1100203

教職課程に関わる生物系実験科目の履修登録について

入学年度により異なりますの、指定の授業を登録してください。※履修期は「夏期集中」となります。

学科	科目名	授業コード	担当者	諸注意
生命化学科	生物学実験 ※2022 年度以降（3 年生）入学生用 基礎生物学実験 ※2021 年度以前入学生用	A1900218 A1100141	辛 英哲	入学年度により、登録科目が異なるので注意すること
応用化学科	生物学実験 ※2022 年度以降（3 年生）入学生用 応化生物学実験 ※2021 年度以前入学生用	A1900218 A1500007	杉山 健二郎	入学年度により、登録科目が異なるので注意すること
環境化学科 応用物理学科	生物学実験	A1900218	辛　英哲 他	

６．学芸員課程科目

学芸員科目を履修するためには、①**年度初めに行われる学芸員課程説明会（2024 年度はオンデマンド）に参加**し、②**学芸員課程の登録**を行います。単位の履修方法は、登録時に渡される「**学芸員課程の手引き**」に掲載されています。これに従って、③学芸員課程の必修科目と選択科目（各学科に設置）を履修してください。

理工系分野の知識が豊富で、社会教育に対応できる学芸員は非常に少ないのが現状です。一方で、理工系の博物館は増加傾向にあり、今後の発展が予想されます。あなたもチャレンジしてみませんか。

また、本学は国立科学博物館大学パートナーシップに入会しています。本学学生は、国立科学博物館、附属自然教育園、筑波実験植物園の入館窓口で学生証を提示することにより、常設展は無料、特別展を割引価格で利用することができます

ので、ぜひ活用してください。博物館との出会いはみなさんの生活をより豊かなものにしてくれます。

博物館実習について

博物館実習は、学内演習（3 年次・講義）と学外実習（4 年次・博物館等での実習）の 2 段階で構成されています。4 年次に学外実習を行うには、その前年度に学内演習（夏期集中）の受講と博物館実習報告会（例年 11 月~1 月に 2 回実施　予備登録オリエンテーション含む）への出席が必須です。

教職課程・学芸員課程に関する問い合わせは

幹事　安部芳絵　　abeyoshie@cc.kogakuin.ac.jp まで

7. インターンシップ科目

「インターンシップ A/B」について

１・２年生対象の「インターンシップＡ/Ｂ」は、実施の詳細や申し込み方法等を募集説明会にて説明します。別途掲示やキューポートにて案内しますので、注意してください。

「キャリアデザイン」「キャリア教育Ⅰ」「学外研修」の履修登録について

1　３年生対象の集中科目「学外研修」（通称：インターンシップ）の履修を希望する学生は、２年後期の選択科目「キャリアデザイン」または「キャリア教育Ⅰ」*を履修してください。「学外研修」で受入れ機関（研修先）を決定する際に、「キャリアデザイン」または「キャリア教育Ⅰ」の単位を修得した学生を優先します。この件に関しては、「キャリアデザイン」の１回目の授業で詳しく説明します。

2　「キャリアデザイン」「キャリア教育Ⅰ」は、後期履修登録期間に学生自身が WEB 上で履修申請を行ってください。「学外研修」は教務課で履修登録をするため、ご自身での登録は不要です。

※「キャリア教育Ⅰ」は、工学部電気電子工学科の２年生対象に開講されている第Ⅲ群の科目です。

授業時間割変更等について

今年度、標準履修期と異なる開講をする科目もしくは開講しない科目がありますので、時間割表を確認してください。授業時間割に変更が生じた場合はキューポートより周知しますので、確認してください。

新宿キャンパスの教科書販売について

新宿キャンパスでは限られた期間のみ、教科書を販売しています。詳細はキューポートに掲示します。期間を過ぎた場合、大学での販売はありませんので、各自で購入してください。

授業アンケートの実施について（クオーター毎に実施）

授業アンケートがクオーター毎に全学的に実施されます。アンケートは、学生が学ぶ側の視点から授業に対する評価を行い、その結果を参考にしながら学生・教員双方でより良い授業を作り上げていく事を目的としています。回答方法等詳細は、キューポートで通知されますので、実施期間内に必ず回答してください。

履修の手引き（建築学部）

履修登録上の注意

履修の制限について

建築学部の【Ａ群】総合教育科目「ｂ）自然科学系科目」（選択必修）は、他学部の「共通基礎科目」（自然系）と内容が異なります。建築学部の学生が他学部の「共通基礎科目」を履修することや、他学部の学生が建築学部の「ｂ）自然科学系科目」を履修することはできません（ただし、「生物学概論」のみ他学部と合同開講します）。また、他学部の必修科目のように再履修クラスは設置されませんので、リピートまたは再履修する場合は指定されたクラスで受講し、１回目の授業時に再履修である旨を担当教員に申し出てください。

建築セミナー・卒業研究の履修登録について

３年後期「建築セミナー」（選択）と４年通年「卒業研究」（必修）の履修には、それぞれ研究室登録手続きが必要となります。研究室登録手続きの詳細や時期は年度ごとに定められるので、掲示板やキューポートに示される情報に注意してください。なお、例年４月に「卒業研究」研究室登録手続き、６月～７月上旬に「建築セミナー」研究室登録手続きが実施され、関連情報はその前月下旬までに周知されています。

数学系科目の履修登録について

「基礎数学」「微分積分Ⅰ/Ⅱ」

① １年次前期の「基礎数学」と「微分積分Ⅰ」は、「習熟度調査・数学」の得点別にクラス分けされ、１回目の授業までに教務課によって事前登録いたします。指定されていない科目・クラスでの履修登録は認めません。

② １年次前期に「基礎数学」を指定された学生について：
１年次前期は「基礎数学」を指定されたクラスで受講して下さい。履修を希望しない場合は削除できますが、再度自身で登録することはできないので誤って削除した場合は例外履修申請してください。その際、担当教員への許可は不要です。「微分積分Ⅰ」は１年次後期以降、「微分積分Ⅱ」は２年次前期以降、履修登録できます。「基礎数学」の２年次以降の履修は再履修のみ認めます。

③ １年次前期に「微分積分Ⅰ」を指定された学生について：
１年次前期は「微分積分Ⅰ」を指定されたクラスで受講して下さい。履修を希望しない場合は削除できますが、再度自身で登録することはできないので誤って削除した場合は例外履修申請してください。その際、担当教員への許可は不要です。「微分積分Ⅰ」は１年次前期以降、「微分積分Ⅱ」は１年次後期以降、履修登録できます。「基礎数学」は２年次以降を含め履修登録できません。

④ 「基礎数学」「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」は、単位修得によりすべて卒業単位に含まれます。ただし、複数科目を単位修得しても「１年次指定選択必修科目」（※）として認められるのは１科目のみとなり、他の科目で３科目以上の単位修得が必要になります。
※建築学部では、【Ａ群】総合教育科目の「ａ）総合文化科目」と「ｂ）自然科学系科目」に「１年次指定選択必修科目」があり、「卒業研究着手」（３年次終了）までにそれぞれ２科目４単位以上、合計４科目８単位以上の単位修得が義務づけられています。

⑤ 他学部の「微分及び演習」「積分及び演習」「偏微分及び演習」「重積分及び演習」「微分積分及び演習Ⅰ～Ⅳ」「微分」「積分」「偏微分」「重積分」「微分積分Ａ～Ｄ」「微分・積分演習」「偏微分・重積分演習」「微分積分演習Ⅰ/Ⅱ」は履修できません。

「線形代数学Ⅰ/Ⅱ」

他学部の「線形代数及び演習Ⅰ～Ⅳ」「線形代数学及び演習Ⅰ～Ⅳ」「線形代数１～４」「線形代数学１～４」「線形代数Ａ～Ｄ」「線形代数学演習」は履修できません。

「建築幾何学Ⅰ/Ⅱ」

① 建築学部対象の「幾何学Ⅰ/Ⅱ」は、2019 年度に「建築幾何学Ⅰ/Ⅱ」へ科目名称を変更しました。2017 年度以前の入学者は、「建築幾何学Ⅰ」の単位を修得すれば「幾何学Ⅰ」の単位、「建築幾何学Ⅱ」の単位を修得すれば「幾何学Ⅱ」の単位に振り替えて修得できます。

② 他学部の「幾何学Ⅰ/Ⅱ」、「総合幾何学Ⅰ/Ⅱ」、「電気電子幾何学Ⅰ/Ⅱ」、「計算幾何学」、「デザイン幾何学」、「システム幾何学」は履修できません。

「建築代数学」「建築ベクトル解析」

① 建築学部対象の「代数学」、「ベクトル解析」は、2020 年度に「建築代数学」、「建築ベクトル解析」へ科目名称を変更しました。2017 年以前の入学者は、「建築代数学」の単位を修得すれば「代数学」の単位、「建築ベクトル解析」の単位を修得すれば「ベクトル解析」の単位に振り替えて修得できます。

② 他学部の「代数学」、「ベクトル解析」は履修できません。

「微分方程式論」「応用解析学」「複素関数論」

① 他学部の「微分方程式」、「応用解析学」、「複素関数」、「複素関数論」、「函数論」は履修できません。

② 他学部の「微分方程式論」は例外履修できます。

建築構法の再履修について

2 年生以上再履修の方は、ご自身の所属クラスに関わらず、「A1100274 建築構法[建築]【01-06】[対面]（月曜 4 限）」を受講してください。

3 年次前期必修科目の履修に関する注意

３年次前期の必修科目「まちづくり演習」「建築演習」「建築デザイン演習」と１・２年次前期配当の必修科目が同一時限に重なった場合は、卒業研究着手条件を満たす観点から、１・２年次配当の必修科目を優先して履修しなければいけません。同様に、３年次後期には１・２年次後期配当の必修科目を優先して履修しなければいけません。

建築学部 2 年生および 3 年次科目　履修条件未充足者の再履修について

① 複数のクラスで開講される【Ｂ群】専門科目「ａ） 専門基礎科目」（必修）は、同一時限に前年度修得できなかった「必修科目」が重なった場合に限り、本来のクラスとは時間帯が重ならない別のクラスで履修することができます。この場合には初回の授業までに担当教員にその旨を申し出てください。

②「必修英語」と【Ｂ群】専門科目「ａ） 専門基礎科目」（必修）が同一時限に重なった場合は、学期初めのガイダンスまでに建築学部幹事に速やかに連絡してください。ガイダンスにて建築学部幹事が履修相談に対応します。

履修登録スタートマニュアル 【！】必ず目を通すこと

履修登録とは

授業を受講するには、必修科目を含め全て、必ず履修登録をする必要があります。履修登録をしていない授業は、成績評価の対象になりません。なお、履修登録は全てWEB上で行います。

履修登録から単位取得までの流れ

履修登録⇒登録内容の確認⇒授業の受講（予習・復習含む）⇒筆記試験等成績評価⇒合格すれば所定単位を取得
ここでは上記の履修登録方法と登録内容の確認方法について説明します。

ＷＥＢ履修申請の流れ

手順１．キューポート で履修する科目を選択する
⬇
手順２．該当のクラスではない授業を選択した場合などエラーチェックがかかるので、エラーがある場合は修正する
⬇
手順３．登録しようとしている履修内容で進級・卒業見込みのチェックがかかるので便覧も参照しながら確認する
⬇
手順４．特に問題がなければ「提出」ボタンを押し、履修申請を提出する

Point1 **「提出」ボタンを押した後、履修登録画面に戻り、追加や削除、あるいは進級・卒業見込み判定のチェックを再度かけた場合はお手数ですが、もう一度「提出」ボタンを押してください。**

Point2 **エラーのある状態を放置しない。**
エラーのある状態のまま履修登録期間が過ぎると履修内容は削除されます。

Point3 **エラーが解消できないなど履修についての疑問は履修相談コーナーで相談してください。**

【！】「提出」ボタンを押した後、登録完了メールが届きますが、再度履修登録画面に戻り、追加や削除あるいは進級・卒業見込み判定のチェックを行った場合は、「提出」ボタンを再度押す必要があります

【！】履修登録スケジュールを見て、1Q－4Qの履修登録ができる期間を確認してください
【！】スケジュールにリマインド設定するなどして登録期間を忘れないようにしてください
【！】予定管理を怠った結果生じた履修登録不備について、**追加修正は一切認めません**
【！】履修登録期間内は、原則、各日16時までの申請が当日20時にキューポート学生時間割表に反映されます
【！】登録した科目のCoursePowerへの反映は翌日朝6時です（日曜・祝日を除く）
【！】履修登録期間中に履修の追加や修正、削除をしたい場合は、最初に戻って履修申請してください
【！】**履修登録期間外の登録、削除は一切できません**のでご注意ください

履修登録画面に表示される科目について

履修登録画面上で選択できる科目は、所属学科のカリキュラムに存在し、かつ標準履修学年を満たしている科目になります。ただし、情報学部・建築学部などの一部学部では、卒業単位に含められる他学科科目も表示されます。学生便覧をよく確認してください。

・クラス分けのある授業は、原則、入学次に発表されるクラス分け表に従って該当するクラスを履修登録してください。
・一部科目については、システム上でクラス指定がされており、自分の該当するクラスのみが履修登録画面上に表示されます。
・自分の該当クラス以外の授業は、紙の時間割表に記載されていても、履修登録できません。

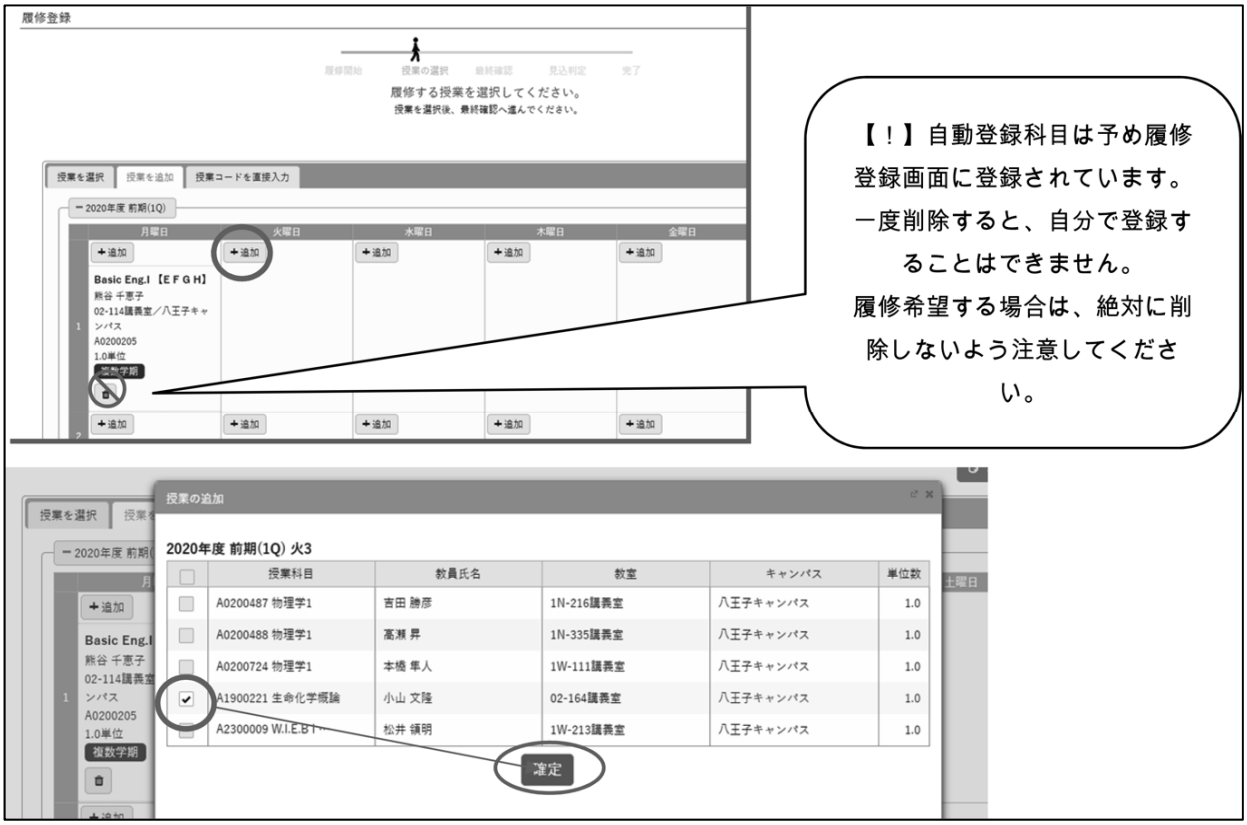
履修申請方法

【！】複数ブラウザ(スマホとPC 等)で履修登録を行うと、不整合により履修が削除される場合があります。
必ず１つのブラウザで履修登録を行ってください。

１．キューポートメニュー「履修登録」をクリックします

２－１．履修登録画面が立ち上がるので「授業を追加」から履修する授業を選択します

※夏期・春期集中授業は、それぞれ2Q、4Qの「集中講義」欄から選択してください



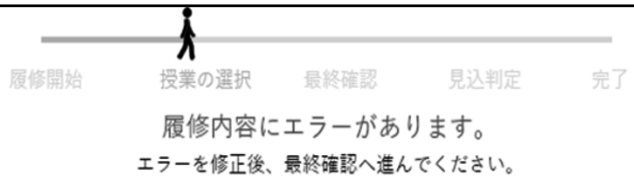
２－２．「授業コードを直接入力」タブから、授業コードを打ち込んで登録することもできます

３．「最終確認へ」をクリックします

４．「基本履修チェック」で、一次エラーチェックが行われます。「履修内容にエラーはありません」と表示されたら、「見込み判定へ」をクリックします

【！】この段階で全ての履修エラーがわかるわけではありません。キューポート学生時間割表に登録した履修内容が反映されたら必ずエラー有無を再度確認してください

５．以下のようなエラーが残っている場合は、エラーの修正を行い、再度「最終確認へ」を選択します



【履修基本・条件エラー】

- 「A0600028 フランス語初級II 【B D F H】」フランス語初級IIを履修するためには、フランス語初級Iを修得済であること（10004）
- 「A0800014 偏微分 （再）R【A B C D】」偏微分を履修するためには、積分を修得済であること（20002）
- 「A0800017 偏微分 【2】」偏微分を履修するためには、積分を修得済であること（20002）
- 「A1000014 重積分 【2】」重積分を履修するためには、偏微分を修得済であること（20003）

→ステップアップの履修条件を満たしていません。

- 「A0600015 フランス語初級I 【B D F H】」授業時間重複またはキャンパス間移動条件を満たしていません。（018）
- 「A1900048 社会教育」授業時間重複またはキャンパス間移動条件を満たしていません。（018）

→同時限に複数の授業を登録しているか、新宿/八王子の移動時間(105分)を満たしていません。

- 「A1000106 情報処理入門 【C】」同一開講期に同一科目の授業は履修できません。（004）
- 「A1000109 情報処理入門 【A】」同一開講期に同一科目の授業は履修できません。（004）

→同一開講期に同名科目は複数履修することはできません。

【履修制限エラー】

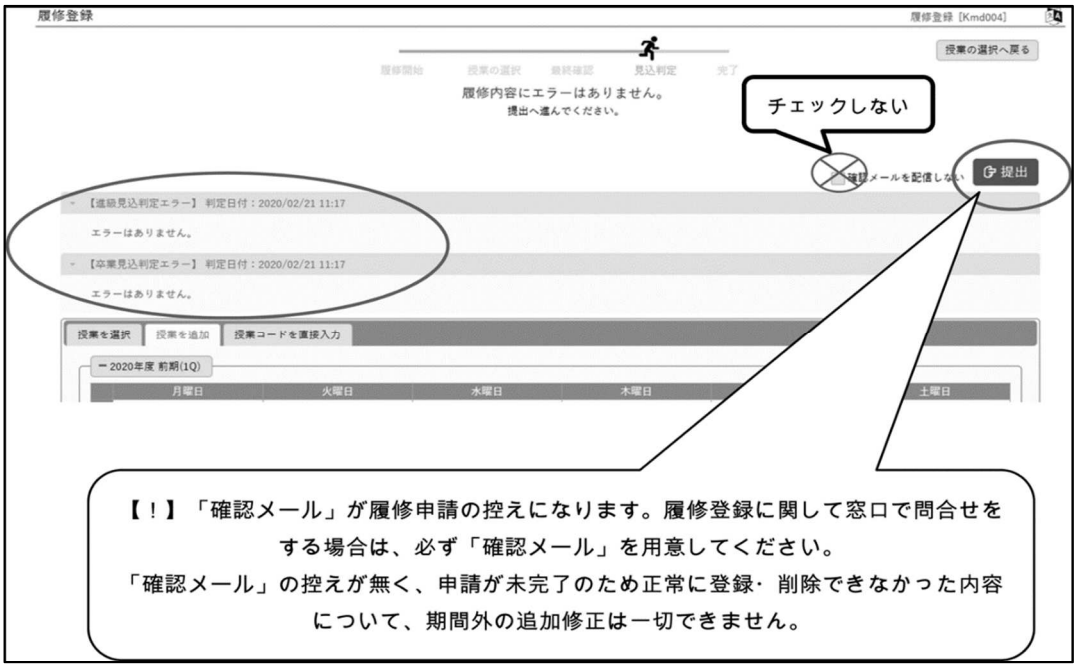
- CAP制により年間49単位までしか履修登録できません。（100c1）

→CAP制上限である49単位を超えて履修登録しています。

６．進級・卒業見込み判定の一次チェックがかかります。エラー状況を確認し、必要であれば科目の追加修正を行います。問題がなければ「提出」をクリックします。

【！】システムの一次チェックだけでなく、自分自身でも必要な単位を満たしているか学生便覧と照らし合わせて必ず確認してください

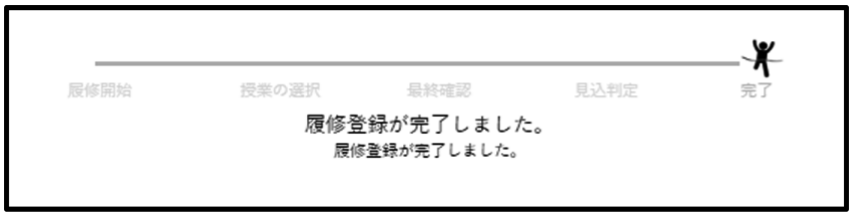
７．「提出します。よろしいですか？」と表示されるので、「✓OK」をクリックします



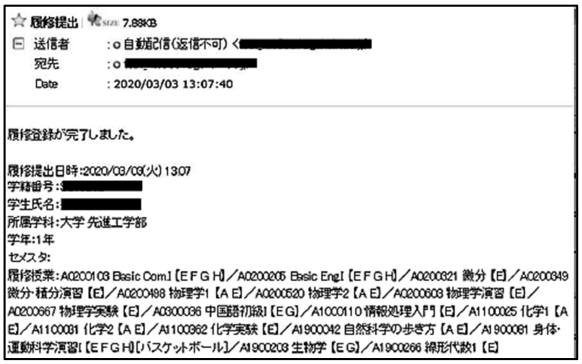
一度提出した後でも、登録期間中であれば再度履修申請を行うことができます

８．「履修登録が完了しました。」画面が表示されたら、一次履修登録が完了です

【！】この画面が表示されるまでは、履修登録は一切完了していません



【！】確認メールが届いたことを必ず確認してください



９．キューポート学生時間割表を確認すると、履修二次エラーチェック結果が確認できます

履修登録した内容は、教務課で再度チェックを行った後、各日20時まで（日曜・祝日を除く）にキューポート学生時間割表に反映されます。その際、「提出」した段階ではエラーがなかったにもかかわらず、エラーが発生のメッセージが出ている場合があります。（ex.学生自身で登録する科目ではなく、教務課で登録する科目の内容が反映され、CAP上限数を超えてしまった場合など）この場合は、次の登録機会にご自身でエラーを解除の上、再度「提出」してください。

抽選科目について＜概要＞　※詳細は前期・後期開始前のキューポート掲示を確認してください

以下の開講科目は抽選対象科目です。**抽選に応募して、当選した学生しか受講できません。**
受講を希望する学生は、指定の期間にキューポート履修登録システム上で必ず応募をしてください。
抽選申し込みは、前期科目が１Qの履修登録期間・後期科目が３Qの履修登録期間の日程近くに実施されますので、キューポート掲示を見逃さないよう十分に注意してください。

2024年度抽選予定科目
①**応用英語**（2022年度以降入学生）
「Introduction to English for Global Communication Ⅰ/Ⅱ」
「English for Intercultural Communication A/B」
「English for Global Communication A/B」
②**第二外国語**「○○語初級」
※同時に2つの第二外国語を履修することはできません。

抽選希望提出方法

キューポートメニュー：履修＞抽選希望登録
抽選希望科目の選択（最大第５希望まで希望できます）

抽選結果の確認

同メニューから抽選結果を確認できます

抽選グループ	曜日時限	授業科目	開講区分	代表教員	抽選結果
test1 test1	月5	A0300072 中国語初級1 [全][遠隔(同)]	週間授業	安 明姫	当選
test1 test1	火5	A0400145 ドイツ語初級1 [全][遠隔(同)]	週間授業	大野 雄三	落選
test1 test1	火5	A0600046 フランス語初級1 [全][遠隔(同)]	週間授業	沼田 審治	落選
test1 test1	水5	A1800095 ロシア語初級1 [全][遠隔(同)]	週間授業	柏谷 典子	落選
test1 test1	土5	A0300068 中国語初級1 [全][遠隔(同)]	週間授業	安 明姫	落選

CoursePower について

工学院大学では授業で**CoursePower**という学修支援システムを利用します。

注意事項

1．履修登録完了後、原則翌日朝6時に履修登録した科目がフォルダとして現れ、授業で利用できます。

2．履修登録せず、CoursePower上で仮登録した場合でも授業は受講できますが、**キューポートで履修登録をしなければ、本登録の状態ではありません**。このような状況で試験を受けたとしても成績は付きませんので、ご注意ください。

3．ご自身の履修登録内容はCoursePowerではなく、**キューポートの学生時間割で確認してください**。

履修登録スタートマニュアルまとめ（確認できたらチェックを入れること）

□ 進級・卒業見込み判定はシステム任せにせず、自身でも確認が必要なことを確認した

□ 履修登録の提出ボタンを押した後、追加や削除あるいは進級・卒業見込み判定の操作をした場合は、もう一度提出ボタンを押さなければ履修登録は完了しないことを確認した

□ 履修登録は各日16時までの申請が、当日19時にキューポート学生時間割表に反映され、翌日朝6時にCoursePowerへ反映されることを確認した

□ 抽選科目の抽選が履修登録期間にあることを確認した